

営農ウィークリー NEWS

洛南花き部会 令和2年度通常総会 開催

令和3年4月2日に洛南支店で洛南花き部会令和2年度通常総会が開催されました。

部会長の月本誠さんから、「新型コロナウイルスの影響で先が見えない大変な時期ですが、これからも花き部会の発展のため花きを支えていけるようご協力よろしくお願い致します」と開会のごあいさつがありました。

総会開会の
挨拶をされる
月本誠さん



★役員改選★

役員改選では新たに、
令和3年度から
洛南花き部会長 佐々木 卓さん
副会長 月本 雅治さん
が就任されました。

第38回 京都府花き品評会 ～特別賞受賞者への賞状の授与が行われました～

農林水産省近畿農政局長賞 吉川正幸さん
京都市長賞 月本雅治さん
京都市花き振興協会会長賞 佐々木卓さん
京都生花株式会社社長賞 樹下博治さん
が受賞されました。
おめでとうございます！！

写真左：吉川正幸さん 右：佐々木卓さん



—TAC information— 『各受賞者の作品をご紹介します！』



おどり葉ボタン 吉川正幸さん



バラ 月本雅治さん



グラジオラス 佐々木卓さん



ボケ 樹下博治さん



★ スクミリンゴガイの対策を行いましょう！！ ★

昨年の水稲では、暖冬によりスクミリンゴガイ（通称：ジャンボタニシ）の越冬数が多くなったと考えられ、本貝による被害が目立ちました。今年も、発生地域では多くの貝が越冬していると考えられますので、被害を抑制するための対策を進めてください。

3. 防除上の注意事項

- (1) 水路で発生している場合には、水田の取水口に金網やネット（図3、目合い9mm程度）を設置し、水田内への侵入を防止します。
- (2) 前年発生があったほ場では、田植え前に水田内をよく観察し、貝の発生（図4）を確認した場合には効果が高い薬剤を散布して被害を防止します。使用に当たっては、散布後の止水等、農薬の容器に記載された使用方法を遵守してください。

効果が高い薬剤の例

メタアルデヒド粒剤	本貝に対する誘引性があり、摂食による殺貝効果がある。
燐酸第二鉄粒剤	有機 JAS 規格に適合し使用回数に制限がなく、摂食による殺貝効果がある。
チオシクラム粒剤	徐々に溶け出し、多雨時でも本貝へのマヒ効果が見込め、食害防止効果がある。

- (3) 発生を確認した水田では、田植え後約3週間は水深を4cm（理想は1cm）以下に維持する浅水管理を行います。田面に凹凸があり、水深が深い部分が残る場合は、薬剤散布と併用してください。
- (4) 水田内または水路で本貝の卵塊（図5）を発見したら、掻き取って廃棄します。なお、本貝及び卵塊には人体に有害な寄生虫が寄生しているばあいがあるので、直接素手で触れないなど取り扱いには十分注意してください。

**京都府病虫害防除所より案内がありました。
病虫害に注意して下さい。**